

**製品名: MMP-19 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13985**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MMP19
別名	MMP19; MMP18; RASI; Matrix metalloproteinase-19; MMP-19; Matrix metalloproteinase RASI; Matrix metalloproteinase-18; MMP-18
遺伝子 ID	4327.0
SwissProt ID	Q99542
免疫原	抗血清はヒト MMP-19 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

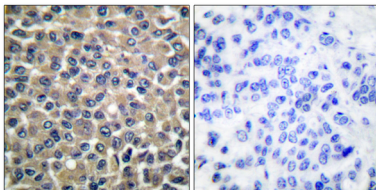
この遺伝子は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、ならびに関節炎や転移などの疾患プロセスにお

る細胞外マトリックスの分解に関与するタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は不活性化プロタンパク質として分泌され、細胞外プロテアーゼによる切断によって活性化されます。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013年1月], 代替産物: 追加のアイソフォームが存在するようです, 触媒活性: アグリカン を 360-Ser-|-Phe-361 部位で切断します。補因子: サブユニットあたり 1つの亜鉛イオンと結合します。補因子: カルシウム。疾患: 関節リウマチ (RA) に伴う関節組織破壊に関与する病理学的プロセスにおいて役割を果たす可能性があります。RA 患者には自己抗原である抗 MMP19 が頻りに認められる。ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出に伴い、亜鉛イオンからシステインが解離することで酵素が活性化される。酵素制御: TIMP-2、TIMP-3、TIMP-4 によって強く阻害されるが、TIMP-1 は阻害効率が低い。機能: 発生、止血、病態 (関節炎) において、アグリカンや軟骨オリゴマーマトリックスタンパク質 (COMP) など、細胞外マトリックスの様々な成分を分解するエンドペプチダーゼ。また、血管新生や血管新生にも関与する可能性がある。IV 型コラーゲン、ラミニン、ナイドゲン、ナスシン C アイソフォーム、フィブロネクチン、および I 型ゼラチンを加水分解する。PTM: Lys-97 の切断により活性化される。類似性: ペプチダーゼ M10A ファミリーに属する。類似性: 4つのヘモペクシン様ドメインを含む。組織特異性: 乳腺、胎盤、肺、脾臓、卵巣、小腸、脾臓、胸腺、前立腺、精巣、大腸、心臓、血管壁に発現する。脳および末梢血白血球では検出されない。また、正常患者および関節リウマチ患者の滑液にも発現する。

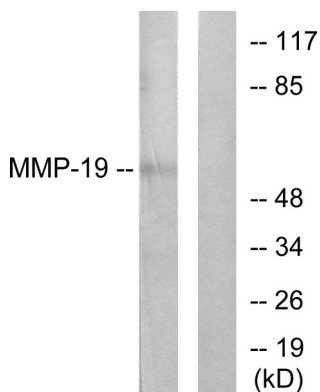
## 研究分野

血管新生

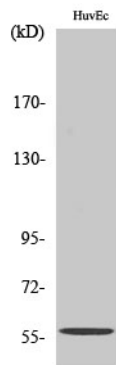
## 画像データ



MMP-19 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



MMP-19 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した MMP-19 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析